

令和4年度横手明峰中学校コミュニティ・スクール基本構想

＜地域とともにめざす子どもの姿（共通の目標、育みたい資質・能力）＞
 「共生・共創 ～明峰から持続可能な未来を拓く～」
 地域や社会、人との関わりを大切に、持続可能な社会を創るために主体的・協働的に参画しようとする態度を育てる
 ○多様な文化、習慣、考え方を尊重し、共に創り共に生きることができる生徒
 ・高い志をもち、社会の創り手として、自らの力を発揮する生徒【自ら発揮する力】
 ・多面的に思考・判断し、新たな考えを創り、主体的に課題解決できる生徒【新たに創る力】
 ・知識や経験をつないで学びを生かし、地域や人とつながる生徒【学びをつなげる力】

学校と地域の連携・協働による取組

貢献・奉仕

- 生徒会 MHR 委員会や SDGs 委員会を中心とした発信・活動
 - ・環境保護、ゴミ問題、緑化作戦、除雪等の地域 MHR 活動
 - ・日常にある SDGs 活動（省エネ、リサイクル、温暖化抑制等）
 - ・学校祭発信活動、保育園・福祉施設訪問や贈物
- 地域伝統文化、民族芸能の継承、地域農業体験と農業振興
- 防災に役立つ情報発信、避難所運営

連携・協働

- 総合的な学習の時間「共生・共創～明峰から持続可能な未来を拓く～」
 - ・地域 SDGs 活動に取り組もう ・安全安心なまちづくり
 - ・横手の企業魅力発見、職場体験学習を通して持続可能な社会の実現
 - ・ふるさと活性化ワークショップ、まちづくりプロデュース
- 地域局、コミュニティセンター、地域企業・団体との連携・協働

支援・評価

- 学校運営協議会（学校関係者評価委員会）年 3 回の開催
 - ・CS 構想と計画、学校経営方針・重点施策の説明・承認および評価
- 学校評価（職員自己評価）や各種アンケートの開示
- 地域コーディネーターを核とした学校と地域団体、ボランティア等との連絡・調整
- 横手明峰中 10 周年 3 days
学んだことを関連付けながら活用能力を働かせる発信・表現の場

学

校

地

域

・

家

庭

＜学校経営の重点事項＞

- ESD・SDGs の視点で教育活動を見直し、「社会に開かれた教育課程」の推進
 - ・目指す生徒像に迫る、獲得する資質・能力がにつながる教科横断的な学習の展開
 - ・課題意識をもち、学ぶ価値や楽しさを感じ得る探求的な学びの方法や環境整備
- 小中 9 年間を見通したキャリア教育の充実
 - ・小中連携教育推進委員会による行動連携と情報連携（コーディネーター連携）
 - ・生徒一人一人のキャリア発達を促す啓発的体験の充実
- 地域連携・協働推進体制による地域とともにある学校づくり
 - ・学校運営協議会の基本方針の共通理解と持続可能な組織・体制の構築
 - ・地域事業所や企業、行政・関係機関との連携・協働体制、人材活用の推進